



木戸 俊治

新学校建設とその教育体制、理念を問う

問 新学校建設の進捗よく及び能勢にしか出来ない教育体制を構築するのは具体的にどのような学校なのか、教育目標、理念を伺う。

答 今年度新体制のもと事業、教育目標の再精査を行っており、6月中旬に基本設計を取りまとめ実施設計を12月中旬に完成させる予定。今年度は造成工事の発注を予定し来年度建築工事を発注、平成28年4月開校を目標に進めている。

能勢の魅力ある学校づくりについては、6小2中の効果ある取組みを引き継ぎ、能勢町全体を学びのフィールドと捉えオール能勢で考える視点を大切にしたい。また新たな教育システム、新たな教科等能勢にしか出来ない教育課程の編成を検討したい。

一、新学校建設とその教育体制、理念は 二、地域活性化の具体的な施策は

問 教職員や保護者の意見を確認し、教育内容を充実させる検討がなされているが、その進捗はどうか。

答 現在校舎等の基本設計と同時並行で、教育内容の検討に入っている。それらの意見を参考に校長会で取りまとめを行っている。

問 全国に先駆け3市2町の教職員人事制度を活かし、すばらしい教員の確保、また教職員の研修充実の考えについて伺う。

答 すばらしい学校を創出するには質の高い教職員集団であることは当然である。教職員人事権が府より委譲されたので志の高い教員を積極的に採用したい。また小中9年間一貫した教育は、国の方でも実践把握と効果検証が行われており、先進的な学校の視察研修等を行い、小中一貫教育を積極的に進めていきたい。

地域活性化の具体的な施策は

問 人口減少に歯止めをかけ、活気あるまちへの転換を図るため具体的に取組む施策は。

答 まず人口減少を抑制する取組みが必要である。特に地域の強みを生かした観光振興、地域資源を軸とした内発型の産業の創出を重点的に推し進め雇用、所得の確保に努めたい。

4月にまちづくり活性化課、観光文化課をスタートさせ、第一回目のタウンミーティングを開催した。以後テーマ別等順次開催の予定である。また町政運営を戦略的に推進するため、まちづくり戦略課長会議を設置し、まちの活性化に向けた諸施策について議論を交わしている。

一般質問



美谷 芳昭

山口町長就任以来、早8ヶ月を過ぎようとしているが、町長と議会との関係は双方歩み寄りがあるが、町政運営に支障が生じないかと危惧をする。

問 町長と議会との関係を中心に、副町長人事、広報・観光関係について対応策をお聞きしました。

答 町長就任後、議会との意思疎通は全く無いが安定的な町政運営のためには議会の協力が必要ではないか、なぜ議会と協調しないのか。

答 町長と議会の関係は車の両輪であり、住民福祉の向上を目的として今後は共に良き緊張感をもって町政運営に努めたい。

問 現在、副町長は不在であり、これは異常事態と思えるが、今後選任はどうされるのか。副町長

今後の町政運営は！

は職員から選任するのがベストと考えるが見解は。

答 現在、府からパイプ役も含め、理事を派遣してもらっているが、副町長は今後時期をみてしかるべき人を提案したい。

問 町のホームページの内容に魅力が無く、且つ情報も古い、リニューアルすべきではないか。

答 ホームページは説明責任や町をアピールするために重要で、今後は速やかに情報の更新も含めリニューアルに着手したい。

問 町の玄関である「道の駅トイレ」は管理不十分な点が見受けられる。また壁の剥離など全体に老朽化しており、早期に改修すべきではないか。

答 管理は府から委託を受け、(有)物産センターに再委託している。不良箇所は早急に修理し、改修については府に要望する。



道の駅トイレ